お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

ブラシ入/切 を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき
- 床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
- ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

ブラシ入/切 を押すごとに「入↔切」が切り替わります。

自動

自動 を押す

「自動」でお掃除するとき
- ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

手動

強/弱 を1回押す

「強」でお掃除するとき
- じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに

強/弱 を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

強/弱 を2回押す

「弱」でお掃除するとき
- カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に
- すき間ノズルを使ったお掃除に

切 を押す

運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

お知らせ
- 大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

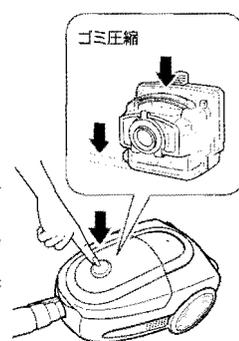
お願い
- 大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります**。このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

ゴミ圧縮ボタンの使いかた

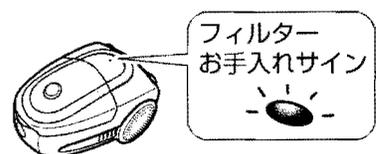
お掃除の前にゴミ圧縮ボタンを押すと、ネットフィルター（リアー）に付着したゴミをかき落とし、ダストカップの中のゴミが圧縮され、目づまりが改善されます。

- フィルターお手入れサインの赤が点灯したら、運転を止め、ゴミ圧縮ボタンを数回押してください。
- ゴミ圧縮ボタンを数回押しても吸込力が弱い場合は、ダストカップ、ネットフィルター（フロント）のゴミを捨て、プリーツフィルターのちり落としを行ってください。

ゴミ圧縮

お願い
- **本体運転中はゴミ圧縮ボタンは押さないでください。圧縮板にゴミがつまる原因になります。**
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一のコンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点灯または点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期を「フィルターお手入れサイン」が点灯、点滅でお知らせします。

- **点灯なし**：目づまりしていません。
- 赤点灯 **赤点灯**：目づまりしてきました。
- 赤点滅 **赤点滅**：目づまりしています。お手入れしてください。

お手入れ

ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、プリーツフィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの際には 切 を押して運転を止め電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

ダストカップ・フィルター

ダストカップ・プリーツフィルター

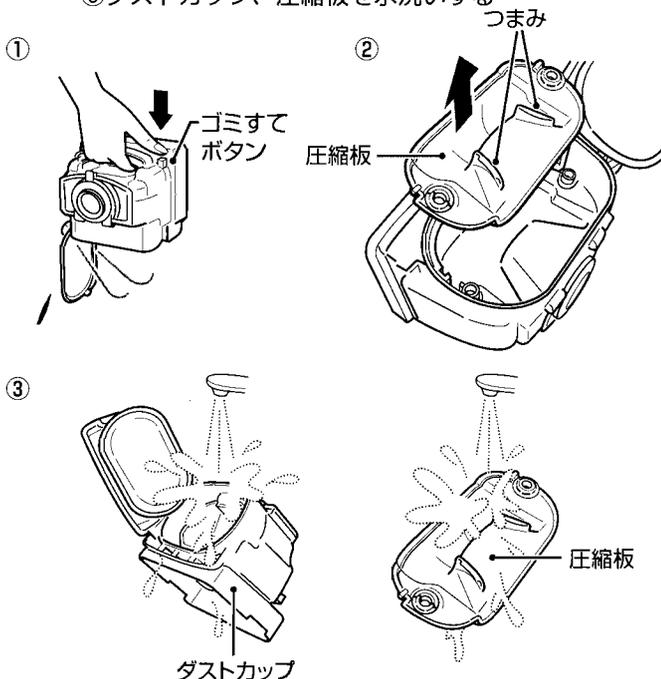
●本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。8 9 ページ

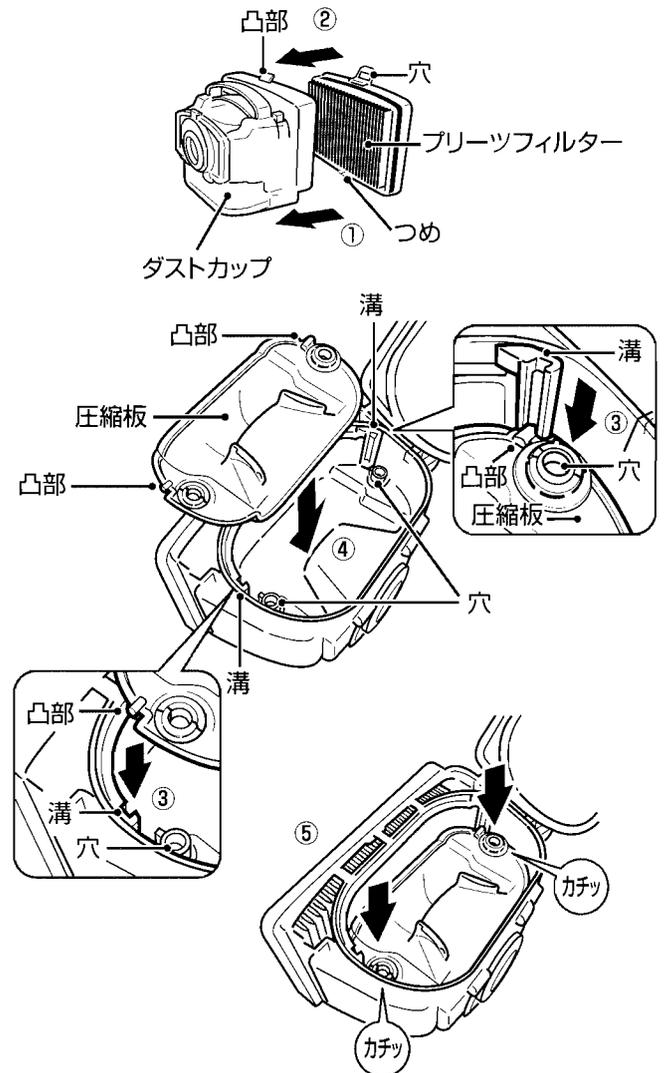
1 プリーツフィルターをはずし、水洗いする

①つまみをもち、フィルターをはずす
②水洗いをする

●プリーツフィルターを広げながら洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

2 ダストカップ内の圧縮板をはずし、水洗いする

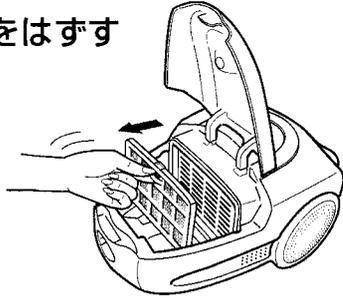
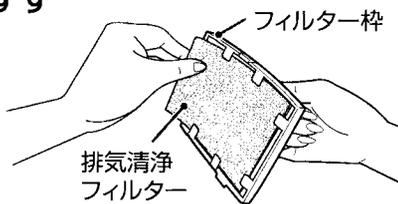
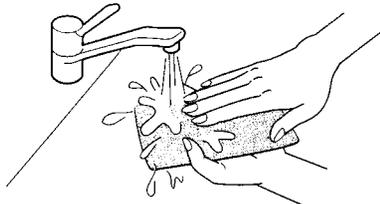
①ゴミすてボタンを押し、底面を開く
②圧縮板のつまみを持ち、上に引き上げてはずす
③ダストカップ、圧縮板を水洗いする

3 十分な乾燥を確認して、プリーツフィルター・圧縮板をセットする

①プリーツフィルターのつめをダストカップに引っかける
②ダストカップの凸部につまみの穴をはめ込みセットする
③圧縮板の凸部をダストカップの溝に合わせる
④ダストカップの溝にそって、圧縮板を下におろす
⑤圧縮板の左右の穴部を上から押し、カチッと音がするまでしっかりはめ込む

お願い

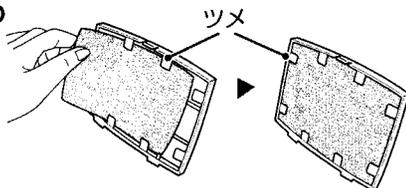
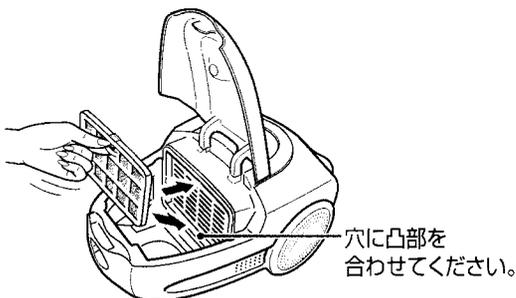
●吸込力を持続させるために、月に1度を目安にネットフィルター（リアー、フロント）とプリーツフィルターはお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）
●プリーツフィルターに付着したゴミが取れにくい場合は、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
●フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
●圧縮板を強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
●水洗い後、プリーツフィルター・ネットフィルターにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。

⚠警告 **本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーを除く）・ワンタッチどこでもブラシは絶対に水洗いしない**
感電・故障の原因になります。

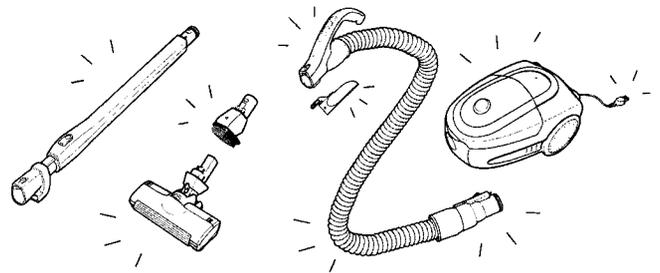
排気清浄フィルター

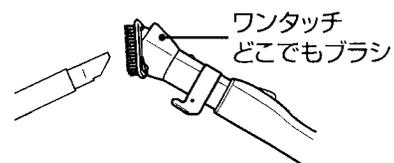
1 フィルター枠をはずす

2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす

3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる

お願い

- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる

5 フィルター枠を本体にはめ込む

本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

- ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。

ワンタッチどこでもブラシ

すき間ノズルでブラシ毛についたゴミを取りのぞく

お願い

- ワンタッチどこでもブラシは水洗いしないでください。

（つづく）